

自 転 車 取 扱 説 明 書

SCARABIKE

はじめに

安全上のご注意

各部の名称

付属品

部品の取り付け方

日常点検

各部の調整

ブレーキのかけ方

お手入れについて

はじめに

このたびはスカラバイクの自転車をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

この説明書は、自転車を安全・快適にご利用いただくために必要な情報が記載されています。自転車をお使いになる前に、この説明書をよくお読みになり、自転車の正しい取り扱い方を十分にご理解ください。

この説明書は大切に保管し、必要に応じてご活用ください。



自転車の装備について

前照灯や尾灯（リフレクター）、警音器は標準装備されていません。

公道走行の際は警音器の装着が、夜間走行にはさらに前照灯と尾灯（リフレクター）の装着が、法律で義務づけられています。自転車販売店などにご相談の上、これらの装備を必ずご用意ください。



交通ルールを守りましょう！

自転車は、道路交通法で規定された「軽車両」です。安全のため、必ず交通ルールをお守りください。

道路交通法では、以下のような行為は禁止されています。

- ・二人乗り（補助いすの幼児をのぞく）
- ・並進（2 台以上が並んで走行すること）
- ・夜間の無灯火運転
- ・手放し運転（傘差し運転を含む）

絵表示について

この説明書では、お使いになる方や他の人に危害を与えるおそれのある事柄について、必ずお守りいただきたいことを、以下のマークで示しています。

	警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
	注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、使用者または他の人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定されることを示しています。
	禁止	「していけないこと」を示しています。
	強制	「必ず守らなければならないこと」を示しています。

安全上のご注意



警告事項

運転前に走行前点検をすること

タイヤやブレーキ、ハンドルなどに異常がないことを確認してから走行してください。



強制

異常（変形やひび割れ、ねじのゆるみ等）があるときは乗らない

そのまま走行すると、転倒や事故の原因となるおそれがあります。異常のある部品は必ず交換してください。曲がりの生じた部品を直して再使用することは危険ですのでおやめください。



禁止

アクロバットのな乗り方をしない

転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止

舗装された道路以外の場所を走行しない

山道や河川・階段などで走行すると、ハンドルやフレーム、タイヤなどが壊れ、転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止

悪天候時や視界が悪いときは乗らない

見通しがきかず、転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止

ハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだりしない

運転中にハンドルが取られ、転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止

走行以外の目的（踏み台にするなど）で使わない

転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止

改造しない

部品が外れたり作動しなかったりして、事故や転倒の原因となるおそれがあります。



禁止

スポークにボールなどの固形物を挟まない

走行中に固形物が外れ、転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止



注意事項

走行直後にブレーキに触れない

ブレーキが熱くなっているため、火傷をするおそれがあります。



禁止

運転時はスタンドを完全に上げる

スタンドが上がりきっていないと、カーブでスタンドが地面に接触し、転倒や事故の原因となるおそれがあります。



強制

カーブでは曲がる側のペダルを下げない

ペダルが地面に接触し、転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止

運転しにくい服装、かかとの高い靴では乗らない

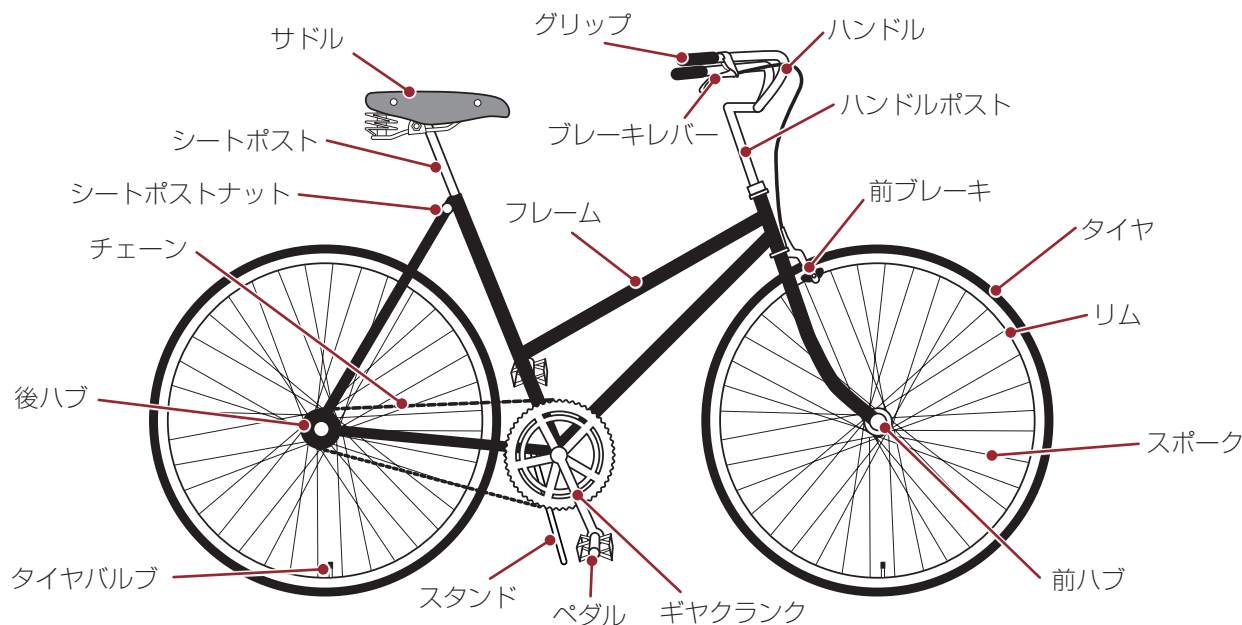
転倒や事故の原因となるおそれがあります。



禁止

各部の名称

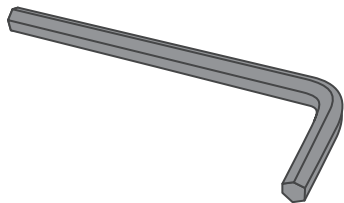
自転車の種類によって多少形状は異なりますが、自転車の構造や部品の配置などはほぼ同じです。



付属品

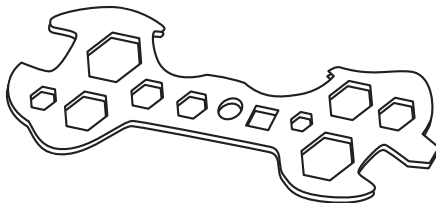
六角レンチ

ハンドルやサドルの取り付け、調整などに使います。



簡易スパナ

ペダルの取り付けなどに使います。



取扱説明書（この冊子）

自転車を安全にお使いいただくために必ずお読みください。

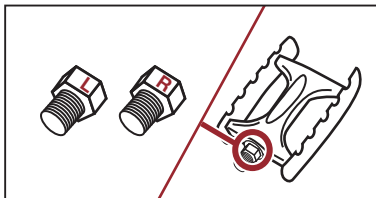
製品保証書

製品保証を受けるために必要です。大切に保管してください。

部品の取り付け方

ペダル

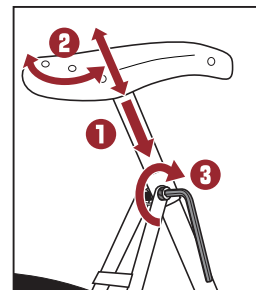
ペダルの根元のボルト部分に、左右を区別する刻印が入っています。「L」が左側、「R」が右側です。



ペダルのボルト部分をギヤクランク先端のボルト穴に差し込み、ボルト部分をスパナでしっかりと締めつけてください。左と右では締め込む方向が逆になります。

サドル

- ① シートポストを、フレームに差し込む
必ず、「はめ合わせ限界指標」が隠れる位置まで差し込んでください。
- ② 高さと左右の向きを調整する
- ③ シートポストナットを、六角レンチでしっかりと締めつける



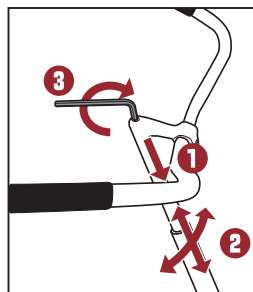
シートポストの「はめ合わせ限界指標」が見える状態では乗らない

警告

走行中にサドルが外れ、転倒によるけがや事故の原因となります。

ハンドル

- ① ハンドルポストをフレームに差し込む
必ず、「はめ合わせ限界指標」が隠れる位置まで差し込んでください。
ハンドルポストが底に当たらないようにしてください。
- ② 高さと左右の向きを調整する
- ③ ハンドルポスト上部のボルトを、六角レンチでしっかりと締めつける



ハンドルポストの「はめ合わせ限界指標」が見える状態では乗らない

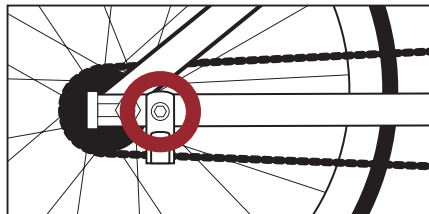
警告

走行中にハンドルが外れ、転倒によるけがや事故の原因となります。

部品の取り付け方

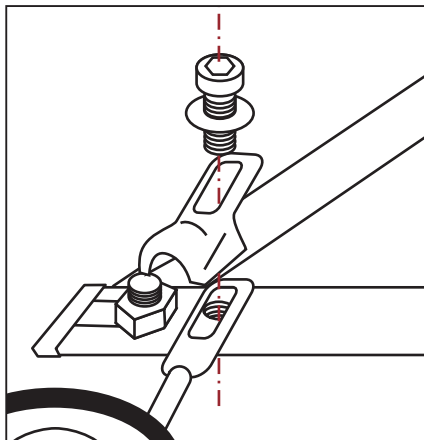
補助輪

- ① 補助輪取り付け部のボルトを、六角レンチでゆるめる



- ② ボルトとプレートを取り外す

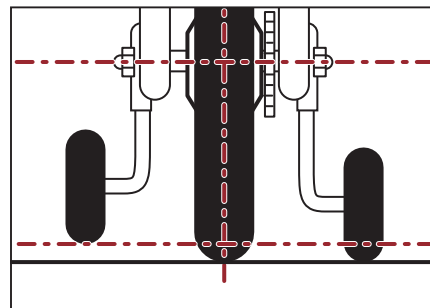
- ③ 補助輪をフレームとプレートの間に挟み込み、ボルトを軽く締めつける



補助輪に左右の区別はありません

- ④ 補助輪の高さを調整し、ボルトを六角レンチでしっかりと締めつける

左右の補助輪と後輪が同時に地面に接触しないようにしてください。通常は左側の補助輪を、右側よりもやや高めにします。



日常点検

自転車に乗る前に、必ず点検を行うようにしましょう。日々の点検が、自転車の故障や事故を防ぎます。異常が見つかった場合は走行せず、自転車販売店などにご相談ください。

ブレーキの動作確認

前後のブレーキが正しく動作することを確認しましょう。

タイヤの状態の確認

タイヤの空気圧が適正であることを確認しましょう。空気の入れすぎや抜けすぎは自転車を傷める原因となります。

タイヤの表面に摩耗や亀裂がないか、異物がついていないかを確認しましょう。

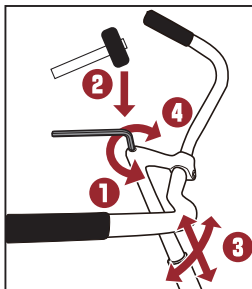
各部のひび割れやゆるみの確認

各部にひび割れやゆるみがなく、しっかりと固定されていることを確認しましょう。とくにサドルやハンドル、車輪がゆるんでいないかどうか、よく確認しましょう。

各部の調整

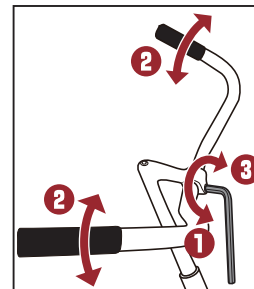
ハンドルの調整（高さ・左右方向）

- ① ハンドルポスト上部のボルトを、六角レンチでゆるめる
- ② ボルトの頭を真上からゴムハンマーなどで軽たたき、ハンドルポストをゆるめる
- ③ 高さと左右の向きを調整する
- ④ ハンドルポスト上部のボルトを、六角レンチでしっかりと締めつける



ハンドルの調整（上下角度）

- ① ハンドルバー中央のボルトを、六角レンチでゆるめる
- ② ハンドルの上下の角度を調整する
- ③ ハンドルバー中央のボルトを、六角レンチでしっかりと締めつける

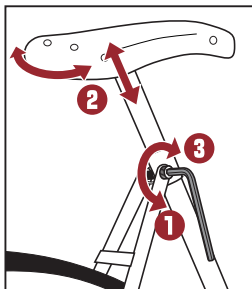


ハンドルポストの「はめ合わせ限界指標」が見える状態では乗らない

警告 走行中にハンドルが外れ、転倒によるけがや事故の原因となります。

サドルの調整

- ① シートポストナットを、六角レンチでゆるめる
- ② サドル全体をつかんで、高さと向きを調整する
- ③ シートポストナットを、六角レンチでしっかりと締めつける



サドルの高さは、座ったときにつま先が軽く地面につく程度が最適です。体格に合わせて、無理のない姿勢で運転、停止できるように調整してください。

チェーンの張り具合

チェーンは、適度に遊びがある状態を保つようにしてください。張りすぎ、たるみすぎの場合は、自転車販売店にご相談ください。



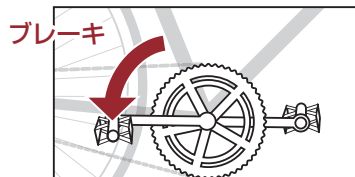
シートポストの「はめ合わせ限界指標」が見える状態では乗らない

警告 走行中にサドルが外れ、転倒によるけがや事故の原因となります。

ブレーキのかけ方

後輪ブレーキについて

スカラバイクの自転車は、後輪にコースターブレーキを採用しています。走行中にペダルを逆回転させると、その強さに応じて、後輪軸に組み込まれたブレーキが働きます。



警告

急ブレーキをかけない

バランスを崩したりスリップしたりして、事故や転倒の原因となるおそれがあります。



警告

前ブレーキだけを強くかけない

前輪がロックして自転車が前転し、けがや事故の原因となるおそれがあります。

注油

チェーンの油が切れかかった場合は、チェーン全体に、適度に自転車用チェーン油を差してください。

タイヤなどゴム部分には油を差さないでください。ゴムが劣化するおそれがあります。



警告

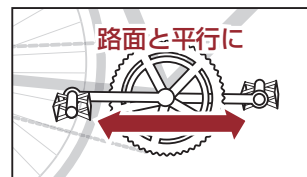
ブレーキには絶対に注油しない

ブレーキが利かなくなり、転倒によるけがや事故の原因となります。

うまくブレーキをかけるコツ

なるべく利き足が後ろの状態、利き足に体重をかけるように踏むと、楽にブレーキがかけられます。

走行中に足を休めるときは、ギヤクランクを路面と平行に保つようにすると、ブレーキがかけやすくなります。



お手入れについて

フレームの汚れ

車体色がマットブラック以外の場合

フレームの汚れは、から拭きをした後、シリコン系の化学ぞうきんで拭き取ってください。

車体色がマットブラックの場合

化学ぞうきんは使わないでください。から拭きまたは軽く濡らしたぞうきんで汚れを拭き取ってください。



SCARABIKE

Tel 0422-50-0551 Fax 0422-50-0561
〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-21-8 イトーピア武蔵野ラゾーナ208
www.scarab11.com